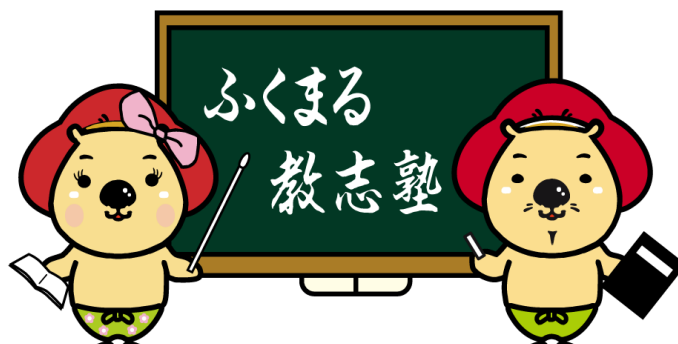


第 10 回 ふくまる夢たまごセミナー 閉 塾 式



日 時 2 月 16 日（金）18：00～20：00

場 所 池田市庁舎 7 階大会議室

内 容 先輩から学ぼう「教師 1 年目を振り返って」
田路 眞子 教諭（池田小学校）

記念講演 「これからの先生に期待すること」
講師 明石 一朗 氏（関西外国語大学 教授）

2 月 16 日、いよいよ「ふくまる夢たまごセミナー」の閉塾式を迎えました。閉塾式では、田渕教育長から、1 年間のねぎらいと励ましの言葉をいただきました。

《田渕教育長より》

現在、池田市の小・中・義務教育学校では、70 名を超える「ふくまる教志塾」出身の皆さんが教員として活躍しています。13 期生の皆さんも、池田市で活躍されることを心から願っています。これからも頑張ってください。



次に、本年度の初任者であり、ふくまる教志塾の 12 期生でもある田路先生から、貴重な 1 年目の教員生活について、お聞きすることができました。

《田路先生より》

教師の仕事は、楽しいことばかりでない。しんどいことも多々ある。職員室で泣いたこともある。それでも、私がやっていけたのは、まわりに先生がいたこと、まわりの先生にたよったらいいいと思えたこと。だから今も頑張っています。



最後は、記念講演として、関西外国語大学教授の明石一朗先生よりユーモアをまじえながら、「教育は人なり」「教師に求められる力」などのテーマを、3つに要約、体験談を交え具体的にお話いただきました。



《明石先生より》

「教育は人なり」教師は信頼関係が大事、①命を預かり、②信頼を築き、③どの子ども良くなると確信すること。あたたかいまなざしをむけること。



「教師に求められる3つの力」

①授業力、②子ども理解力、③保護者等の対応力。

学校で問題が起きたときの初期対応では、逃げる・隠す・ごまかす、ことなく客観的事実に真摯に向き合うこと。

1年間のふくまる教志塾の締めくくりにふさわしいお話に塾生一同、改めて教師という仕事の素晴らしさと責任の重さを実感したようです。

《塾生の感想から》

○ 運動会や音楽会等の行事は、子どもの団結力を高めるため、友人関係を深めるためと思っていました。ですが、先輩の話を聞いて、子どもが達成感のある表情をした時、先生のがんばりも報われて、全員が成長できる行事なんだと気づきました。自分にできることを見つけて、子どもに寄り添える教師になりたいです。



○ 明石先生がおっしゃっていた、あたたかいまなざしで寄り添うことが大切という話で、私が関わった支援の生徒のことを思い出しました。教師の考えていることは、私たちが思っている以上に伝わるということ、真心を持ってひとりひとりと関わっていきたいです。